

高松立太田南小学校 体力向上プラン

人間性豊かで 心身ともに健康で実践力のある たくましい子どもの育成

めざす児童像—たくましい心と身体をもった子どもを育てます—

【本校の課題】

- スポーツや運動遊びの経験が少ない児童が多い、遊具を使った遊びを行う児童に偏りがあるなど、運動に親しむ習慣が二極化傾向にある。
- 児童数に対して運動できるスペースが少ないこと、新型コロナウイルス感染症予防対策のため昼休みの運動場使用に制限を設けたため、外で運動する時間が減少している。

【現状】

休み時間等には元気よく運動場で遊んでいる姿が見られるが、学年や人数が固定化されている。昼休みには、全体遊びをしているクラスとそうでないクラスがあるため、運動経験に差が生じている。また、多くの子どもたちが、ボールを使った遊びや鬼遊びが中心で、遊具などで遊ぶ姿は比較的少ない。

—昨年度より一校一運動として取り組んできた縄跳びの効果もあり、年間を通して縄跳びで遊んでいる児童の数は増えてきている。一方で、低学年に比べて高学年の取り組み方が比較的消極的であるという課題もある。

【取組み】

〈運動好きの児童を育てる環境整備〉

苦手な児童やボールに恐怖心がある児童でも 楽しめるように、ソフトドッジボールを購入する等体育備品を充実させ、児童の運動に対する抵抗感を低くし、様々な運動に親しめるようにする。

〈クラスマッチ種目の実施〉

全学年で行う。各学年の実態に合わせて、仲間づくりにも有効であることを知らせる、内容を学年団で相談する。本年度は縄跳び（1～2月）を実施する予定である。

〈縄跳び・長縄イベント〉

一校一運動として、縄跳びに親しむことができるように、環境を整える。ジャンピングボードの常時設置を含めたスペースの確保、体育委員会による長縄イベントの開催により、児童が意欲的に活動できるようにする。

〈放課後陸上クラブ〉

身体的、心身的な成長を促すために、体力づくりの一環として、4～6年生を対象に、陸上クラブを開設する。運動の得意不得意に関わらず、陸上運動に集中的に取り組み、運動の楽しさや特性に触れることができるようにすることで、生涯のスポーツライフへつながるようにする。

【目標】

- 運動やスポーツに親しむ経験ができる場を設けて、今年度新たに自己の運動に関するアンケートを実施し、令和4年度までに運動が楽しいと答える児童を90%以上にする。
- 全ての取り組みで児童の情意そのものに焦点を当てることで、運動好きを増やすことから新体力テストの記録向上へとつなげる。令和4年度までに、半分以上の項目で全国平均以上を目指す。
- なかまとともに運動する機会を増やすことで、スポーツライフに向けた対人性と社会性を養う。